

# 福山市産業振興 アクションプラン（素案）



# 目次

● 1	趣旨と期間	2
● 2	企業の経営力強化	6
	（1）企業のデジタル化の推進	7
	（2）製品開発力・稼ぐ力の強化	1 1
	（3）危機管理体制の強化	1 4
● 3	起業・創業支援や企業誘致の促進	1 7
	（1）起業・創業支援	1 8
	（2）事業承継支援	2 1
	（3）企業の新規立地・事業拡大の促進	2 4
	（4）本社機能やオフィス系企業の誘致の促進	2 7
● 4	地域経済循環構造の形成	3 0
● 5	多様な働き方の推進	3 4
● 6	幅広い人材の確保	3 8

※本資料内の専門用語には下線を引き、最初にその用語が記載されているページの下部に説明を記載しています。

# 1

趣旨と期間

2 企業の経営力強化

3 起業・創業支援や企業誘致の促進

4 地域経済循環構造の形成

5 多様な働き方の推進

6 幅広い人材の確保

## 1

# 趣旨と期間

## (1) 策定の背景

本市では、2017年度に第五次福山市総合計画基本構想を策定し、将来都市像である「ひとが輝き 夢をはぐくむ 未来創造都市 ～ばらのまち 福山～」の実現をめざしています。この中で、産業の振興においては、優れたものづくり技術などを生かした更なる産業の発展をめざし、「福山市産業振興ビジョン」に基づき、各種施策を実施してきました。

このたび、2021年3月に策定した新たな都市づくりの指針となる「福山みらい創造ビジョン」を踏まえ、福山市産業振興ビジョンに代わる実行計画として「福山市産業振興アクションプラン」を策定します。

## (2) めざす姿

企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症などの影響により、先行きが不透明になっています。

本プランにおいては、デジタル化による生産性の向上や製品開発力の強化など、持続可能な経営につながる取組を支援し、経営基盤の強化と地域経済の好循環による産業の活性化をめざします。併せて、誰もがやりがいをもって安心して働き、活躍できる社会をめざします。

第五次  
福山市総合計画  
基本構想  
(2017～)

第1期基本計画  
(2017～2020)

福山市産業振興ビジョン  
(1995～2020)

福山みらい創造ビジョン  
(2021～2025)

福山市産業振興アクションプラン  
(2021～2025)

※本プランは、変化する社会経済情勢に合わせ必要に応じて適宜修正を行います。

### （３）産業振興アクションプラン実施にあたっての方針

## 現場主義の徹底 ～中小企業の生の声を聴く～

### 取組の柱

#### ① 「福の耳プロジェクト」による企業訪問

企業への訪問により、事業の内容や課題などを聴き取る中で、必要な施策に反映していきます。また、訪問企業に対して、継続的にアンケートや情報提供などを実施していきます。

#### ② 各業種・業界団体との連携

企業が加盟する各業種・業界の団体から業況などを聴き取る中で、支援の検討につなげていきます。

#### ③ 「福山市産業支援者連絡会議」との情報共有

商工会議所、商工会をはじめとする市内産業支援機関で構成する連絡会議において、各業種の業況などを共有し、状況に応じた効果的な支援につなげていきます。

施策立案

#### 【福の耳プロジェクト】

企業の事業環境や経営課題などを把握し産業振興施策に反映すること、企業が持つオンリーワン、ナンバーワンの技術や製品を発掘することを主な目的とした企業訪問・ヒアリング事業。

#### 【福山市産業支援者連絡会議】

中小企業・小規模事業者の状況を把握し効果的な支援につなげることや、災害時の迅速な被災状況の収集や情報提供を目的に、市内の産業支援機関・金融機関と行政（県・市）が定期的な情報共有を行う会議。

#### (4) 産業振興アクションプラン実施にあたっての役割分担

